

概要報告書

2021 年度

事業種別	県域安全事業
団体名	認定特定非営利活動法人ひこばえ
事業名	シェルターの健全運営とDV等被害女性と子どもへの支援
<p>ひこばえは DV(家庭内暴力)・虐待等で傷つけられた女性や子ども達に安全・安心の場を提供し、社会的自立に向けての総合的支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV で病を抱えてしまったり、脅えている女性は、まずはシェルターで心ゆくまでゆっくりと過ごして頂く。その間「一人にしない」ことに配慮し、「一人ではない」こと、何か心配ごと落ち着かないことがあれば、すぐに面接や医療機関等への支援の対応ができることを伝え、安心して過ごせるような配慮をしている。 ・シェルターに入所してすぐの女性たちは、風で窓が「ガシャン」と鳴るだけで加害者が来たのではないかと脅えてしまう。女性たちの安全が守られていると分かると安心につながるので、今年度は防犯カメラをシェルターに4ヶ所設置し監視できるようにした。 	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(東南と東北の角に各 1 か所)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(玄関 2 か所)</p> </div> </div> <p>・個人面接の他に、月に1回開催している自助グループ「しゃべり場」がある。人間の脳は、話すことで事柄を外に出せる性質がある。ここに来られる女性は加害者からの洗脳により「自分が悪い」と思い込んでいるため、当初は体験を語ることは難しいが、ここは安心していられることが分かると話し始める。</p> <p>・父親との面会交流事業を実施しているが、年々依頼が多くなってきている。ひこばえは中立の立場で両親双方の共通理解を心がけ、子どもの健康な発達を守るための同行支援を行っている。</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。